

バロック音楽から古典派の音楽について

バロック時代はクラシック音楽が様々な意味で形を整えていった時代と言えます。その様式はイタリアにて始まったと考えられていますが、ヨーロッパ各地に伝わり、それぞれの国の独自性を持った様式が生まれています。そしてそれは古典派の音楽へと受け継がれていきます。その音楽の歴史的な流れの中は、多くの作曲家によって埋め尽くされています。この講座では皆さんと一緒に、その流れを探り、それぞれの作曲家の、そしてその作品の魅力を味わっていきたくて考えております。なお第4回目には「バッハとその息子たち」の作品を生演奏で聴いて頂きます。

【講師紹介】

昭和音楽短期大学卒業、同専攻科修了、専攻科修了時に学長賞受賞。読売新聞社主催新人演奏会、神奈川県立音楽堂主催新人演奏会に出演。専攻科修了後、昭和音楽短期大学にて後進の指導にあたる。ドイツ・ブレーメン州立音楽院（現ブレーメン国立音楽大学）に入学、修了。帰国後、リサイタル等の演奏会を定期的に開催。またオーケストラとの協演等、ソロ、室内楽を中心に演奏活動を行う。東京、スイスにてP・L・グラーフ氏の指導を受ける。昭和音楽大学招聘教授 J・C・ジェラルド氏とも共演を重ねる。各種コンクールの審査委員を務める。故宇野浩二、高橋利夫、D・クワルツの諸氏に師事。昭和音楽大学教授、音楽学部長歴任後、現在は客員教授を務めている。



[講師] 黒田 隆

- 日時 2026年7月6日、20日、8月17日、31日、9月14日、28日
- 曜日・時間 月曜日 14:00～15:30
- 定員 12名（先着順）
- 受講料 9,000円（税込）（全6回）
- 会場 カルッツかわさき 中会議室3（※8月31日はアクスタジオで演奏付き講座♪）
- 持ち物 筆記用具

■ カリキュラム

- 第1回：イタリア・バロックについて
- 第2回：フランス・バロック、イギリス・バロック、初期ドイツ・バロックについて
- 第3回：後期ドイツ・バロック、そしてバッハについて
- 第4回：バロックから古典派へ。バッハの息子たち
- 第5回：古典派。ハイドンについて
- 第6回：古典派。モーツァルトについて

※第4回のみ演奏を聴いて頂きますが、全ての回でCD鑑賞、映像放映を行います。

- * 教材・持ち物・カリキュラムの内容は予告なく変更する場合がございます。詳しくは <カルッツかわさき> までお問い合わせください。
- * 受講生が一定数に達しない場合等、やむをえず教室の開講を中止する場合がございます。

● 募集期間：6月6日（土）10:00～6月28日（日）18:00

* 先着順のため定員数に達しだい受付を終了させていただきます。

- お申し込み方法：① <カルッツかわさき> 1階総合受付でのお手続き
- ② お電話によるお申し込み（☎ 044-222-5223）
- ③ <カルッツかわさき> ホームページからWEBでのお申し込み

* 6月28日（日）18:00までに、<カルッツかわさき> 1階総合受付にて受講料のお支払いをお願いいたします



<お申し込み・お問い合わせ>

Tel. 044-222-5223

Fax. 044-222-5122

Mail. culttz-support@c-linkage.co.jp

〒210-0011 川崎市川崎区富士見 1-1-4

<アクセス>

◎ JR 川崎駅・京急川崎駅より徒歩 15 分

◎ 川崎駅東口バスターミナルより乗車 5 分「カルッツかわさき・富士見公園」下車すぐ